

【声明】

タクシー運転手殺害の米兵・米軍を糾弾する

報道によると、去る19日午後9時20分ごろ、横須賀市汐入町二丁目の路上で、タクシー運転手高橋正昭さんが首を包丁で刺されて失血死した事件で、神奈川県警横須賀署捜査本部は2日午前、米海軍横須賀基地で、米海軍に脱走罪で身柄拘束された兵士(22)を取り調べた。米兵は「自分がやった」と殺害容疑を認めた。捜査本部は一両日中に殺人容疑などで逮捕状を請求する。

米兵による凶悪犯罪は、一昨年1月に、この横須賀で佐藤好重さんが殺害され、2002年にオーストラリア女性がキティホーク乗組員による暴行。先の沖縄での少女暴行事件をはじめ、この事件によって、基地周辺の住民も「怖くて買物に行くのも躊躇している」「暗いところにいけない」と不安を語っている。

こうした事件のたびに米軍から繰り返される「綱紀粛正」、「兵員の教育プログラム見直し」など、信じることはできない。それは米軍犯罪が無くなるどころか、増え、凶悪化していることから明らかである。

私たちは、直ちに米兵の引き渡し、日本側による厳正な捜査と処罰、また被害者遺族への謝罪と補償。そして、米軍基地の縮小・撤去、安保条約の廃棄を強く求めるものである。

2008年4月2日

日本平和委員会